

『砂防教室』を開催しました！ ～南姫小学校～

多治見砂防国道事務所

国土交通省では、6月を土砂災害防止月間とし、防災訓練や過去の災害、防災対策などの啓発活動とさまざまな取組で土砂災害防止に努めています。多治見砂防国道事務所妻木出張所では、この活動の一環として6月中旬から7月にかけて、多治見市・土岐市の小学生を対象に『砂防教室』を順次実施していきます。

★平成30年6月18日（月）小雨の中、多治見市立南姫小学校4年生のみなさんに『砂防教室』を開催しました！



「砂防」と「防災力」について学びました



TVの取材を受けました



土石流模型実験を体験しました（雨降りのため車庫の中での体験でした。。）



新聞記者の取材を受けました



砂防施設（雲五川床固工群）を見学しました

国土交通省の土砂災害防止月間（6月）に合わせ、多治見砂防国道事務所は18日、多治見、土岐両市の小学4年生を対象にした本年度の砂防教室をスタートさせた。

児童が砂防施設を見学

多治見、土岐市で教室スタート

この日は多治見市大蔵町の南姫小学校の30人が参加。同市小田町の同事務所で土石流を記録した映像を見たり、模型を使って砂防施設の効果について学んだ。土岐市肥田町肥田の陶史の森では、同事務所妻木出張所の井川陽二所長の案内で砂防えん堤などを見学した。李恩晟さん（9）は「土石流の勢いに驚いた。土砂災害の恐ろしさがよく分かった」と話した。

（浜田悠）

過去の災害や防災対策を啓発しようと毎年開き、今年は7月13日にかけて両市の小学校10校から児童延べ約600人が参加する。

井川陽二所長の案内で砂防施設を見学する児童たち
＝土岐市肥田町肥田、陶史の森

6月19日（火）岐阜新聞（東濃版）